

当法人の「未来エンジン工場」の取り組みが 京都新聞に掲載されました

2025年6月16日 京都新聞 朝刊

大津の医療法人の若手、成安造形大生とタッグ



「メディカルデンパ」の制作に携わった弘英会と成安造形大のメンバー
(大津市仰木の里東4丁目・成安造形大)

看護や介護の魅力を地域に発信するため、大津市北部で病院や高齢者福祉施設を運営する医療法人弘英会の若手職員と成安造形大の学生が、共同プロジェクトに取り組んでいる。課題となっている人材不足の解消に向け、若者に看護や介護の現場を身近に感じてもらうと、ラジオ番組「メディカルデンパ」を制作した。

看護・介護職の魅力 ラジオ番組で訴え

志望動機など軽快トーク、動画サイトで公開 「現場のリアル興味持って」

同プロジェクトは2023年9月に発足した。昨年4月には学生が市内にある介護老人保健施設を見学し、現場が抱える課題を話し合った。担い手の不足が大きな課題として挙がり、高校生などの若者に将来の職業として選んでもらうため、仕事としての魅力ややりがい伝えることにした。

そこで、近年主流となった、SNS（交流サイト）をはじめとする映像媒体ではなく、斬新さに注目してもらおう狙いでラジオ制作を決めた。

弘英会の20〜30代の職員と同大学でラジオ配信を行う学生団体が共同で制作し、昨年12月に収録した。現役の介護士や看護師が登場し、司会者の学生と軽快なトークを繰り広げた。

台本は年齢が近い高校生の目線に立ち、学生が書いた。現場の話だけではなく、職員の高校時代や看護・介護業界への志望動機をはじめとした質問を並べ、現場や活躍する職員のリアルが感じられる内容となっている。

ラジオ制作に関わった弘英会職員の林田龍夕さん(23)は「現場のリアルを知ってもらい、興味を持つきっかけになってくれたらうれしい」と期待する。同大学3年の渡邊槇璃子さん(20)は「現場をより近く感じる」ことができた。明るく多く、イメージが変わった」と話した。

メディカルデンパは同大学のラジオ番組「セイアンデンパ」のYouTubeチャンネルで視聴できる。(佐野健太)

林田龍夕(地域連携課)、山下大空(看護部)、小久保典子(ウイズ・ハート)が出演したラジオを、ぜひお聞きください！



当法人の「未来エンジン工場」の取り組みが

中日新聞に掲載されました

2025年6月14日 中日新聞 朝刊

介護の魅力 学生と発信

大津の弘英会 ウェブでラジオ番組

地域ぐるみで高齢者の生活を支える「地域包括ケアシステム」を知ってもらおうきっかけに、介護の魅力を発信しようとして、大津市の医療法人「弘英会」が、成安造形大（大津市）の学生と協力してラジオ番組をつくった。大学のスタジオから配信する「セイアンデンパ」＝QRコード＝で公開している。

（和泉萌花）

進路選択や就活活用に期待

学生が進行役を務め、法人の介護士と看護師、事務職員の3人が約15分ずつ、仕事のやりがいや選んだきっかけなどを話している。真面目な話だけでなく、人となりが分かるような質問もあり、楽しみながら聴くことができる。

法人は、市内で病院や介護施設を運営している。恒常的に人材が不足する医療や介護業界の閉鎖的でネガティブなイメージを払拭し、地域と連携した活動をしようとして2023年、若手職員を中心にプロジェクトチームを発足。近くにある成安造形大の発想力豊かな学生からアイデアを得ようと大学側に協力を呼びかけた。

両者が昨年4月、共同で開いたワークショップ（WS）では、介護の魅力を発信するさまざまな案が挙がった。中でもラジオでの発信は、交流サイト（SNS）が全盛の今、懐かしさを感じられる媒体で、勉強しながらでも聴くことができ、高校生の進路選択のきっかけにもなる。さらに、データとして残り、学生の就活にも活用できるという利点があり、WSの参加学生の中にセイアンデンパのメンバーがいた縁もあって実現に至った。同12月に収録を終え、編集作業を経て6月上旬に公開した。

り返った。

法人の林田龍夕さん(23)は「ラジオを通じて同僚の人と



なりを知り、自分たちも新たな気づきがあった」と満足げ。北川仁大さん(36)は「やっと土台ができた。人が入れ替わっても続けていける仕組みづくりをしていく」と意気



ラジオを紹介する（右から）渡辺さん、北川さん、林田さん、松尾さん＝大津市の成安造形大で

林田龍夕（地域連携課）、山下大空（看護部）、小久保典子（ウイズ・ハート）が出演したラジオを、ぜひお聞きください！

